

国産木材活用住宅 ラベルの取組

国産木材活用住宅ラベル協議会事務局

(公財)日本住宅・木材技術センター

■ 国産木材活用住宅ラベルとは

- ・ 国産木材の使用量による「国産木材活用レベル」、「スギの使用量」を表示
- ・ 使用した木材による「炭素貯蔵量」等を表示

国産木材の産地がわかる

国産木材の使用量の程度がわかる

戸建住宅や共同住宅、併用住宅
が対象、無償で使えます



■ 国産木材活用住宅ラベルのねらい

- ・ SDGs等を背景に、住宅事業者の社会貢献活動が求められており、国産木材の活用に関する企業行動を共通ルールのもとで「見える化」していくことが重要です。
- ・ 国産木材活用住宅ラベル協議会では、国産木材を活用した住宅を分かりやすく表示する「国産木材活用住宅ラベル」のしくみを構築しました。



- ・ 住宅事業者は自社のSDGsの推進等への貢献を示すことができ、消費者の方々は建築・購入する住宅選択の判断に活かすことが期待されます。

家に日本の木をどのくらい使っているかわからない……こうした制度で示されていれば住宅を選ぶ時の判断に活かせる！



住宅取得者に産地や使用量をわかりやすく伝えたい……SDGsの推進等の貢献も示せる！

■ 国産木材を活用することの意義

○ 森林の多面的機能の発揮に貢献

国産木材を「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用により、森林の適正な整備・保全を続けながら、持続的な木材供給をはじめ、国土保全やCO2吸収など森林の多面的な機能の発揮に貢献することができます。

さらに、住宅産業を含めた国内産業や地域振興にも寄与することができます。



○ 花粉発生源の対策

スギ花粉症は、国民の約4割が罹患していると言われ、社会的・経済的に大きな影響を与えています。

このため花粉を飛散させるスギ人工林を伐採し、花粉の少ないスギ苗木等や広葉樹の導入が求められています。

スギ材の需要拡大は、こうした花粉発生源対策にも寄与します。



▲人工林の立木の伐採



▲花粉の少ないスギの苗木の生産
写真出典：(一社) 全国林業改良普及協会

花粉症対策の全体像

令和5年5月30日 花粉症に関する関係閣僚会議決定

I はじめに

- 花粉症は未だ多くの国民を悩ませ続けている社会問題
- 省庁の縦割りを排し、様々な対策を効果的に組み合わせることで実行していくことが重要。また、息の長い取組が必要。

→ 今後10年を視野に入れた施策も含めて、花粉症という社会問題を解決するための道筋を示す

II 花粉症の実態と人工林の将来

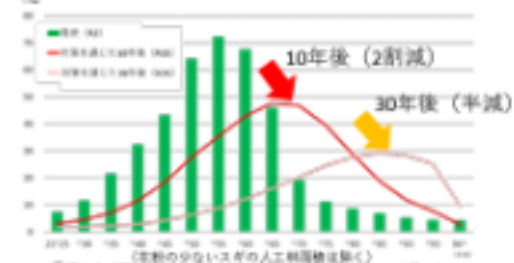
▶ 有病率：約10年ごとに10ポイント程度ずつ増加



(出典) 日本耳鼻咽喉科喉科アレルギー診療学会のデータより作成

▶ 医療費（花粉症を含むアレルギー性鼻炎）
→ 保険診療：約3,600億円、市販薬：約400億円

▶ 花粉発生源となるスギ人工林（20年生組）は431万ha



▶ 「発生源対策」の取組を集中的に進めて花粉量の削減を加速化

III 花粉症対策の3本柱

1. 発生源対策

10年後には花粉発生源の**スギ人工林を約2割減少**させることを目指す。スギ人工林由来の花粉が約2割減少すれば、花粉量の多かった今シーズンであっても平年並みの水準まで花粉量を減少させる効果が期待できる。また、**将来的（約30年後）には花粉発生源の半減**を目指す。

● スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林の伐採を約5万ha/年→（10年後）約7万ha/年まで増加させるとともに、花粉の少ない苗木や他樹種による植替え等を推進
→ 花粉発生源となるスギ人工林の減少スピードを約2倍に
（「花粉発生源スギ人工林減少推進計画（略称：スギ伐採加速化計画）」）

● スギ材需要の拡大【林野庁・国土交通省】

- 住宅分野
- スギ製材
- 国産材普及等
- JAS規格
- 国産材
- 建築等
- 住宅生産者
- ⇒ 需要を

- 花粉の少ない苗木
- ⇒ 10年後
- 林業の生産力の向上
- 高付
- 外国人労働者の確保
- ⇒ 現任者
- ⇒ 年内に1

● スギ材需要の拡大【林野庁・国土交通省】

住宅分野でのスギ材製品への転換促進、木材活用大型建築の新築着工面積の倍増等

- スギ製材・合板・集成材等のJAS材の増産に向けた加工流通施設の国内整備の支援、国産材の利用割合の低い横架材等について輸入材を代替可能な製品を製造する技術の普及等、安定供給体制の構築
- JAS規格・建築基準の合理化

→ 国産材を活用した住宅に係る表示の仕組みの構築（花粉症対策への貢献度を明示）

→ 建築物に係るライフサイクルカーボンの評価方法の構築（3年を目途）

→ 住宅生産者による花粉症対策の取組の見える化 等

⇒ 需要を1,240万㎡→（10年後）1,710万㎡（470万㎡増）に拡大

2. 飛散対策

● スギ花粉飛散量の予測

- ▶ 精緻化されたデータを民間事業者に提供すること等により、民間事業者が実施する予測の精度向上を支援
- ・ スギ雄花花芽調査の強化（34都府県→全国に拡大、調査地点数の倍増）等【環境省・林野庁】
- ・ 航空レーザー計測によるスギ人工林の分布、森林地形等の情報の高度化

3. 発症・曝露対策

● 花粉症の治療







- ・ 診療ガイドライン改訂や対症療法等の医療・相談体制の整備を推進【厚生労働省】
- ・ アレルゲン免疫療法（舌下免疫療法等）の開始時期等について、医療機関等における適切な情報提供や集中的な広啓を実施【厚生労働省】
 - 学会等を通じた医療機関等への協力要請
 - 実施医療機関のリスト化・周知
 - オンライン診療可能な医療機関の周知

○ 炭素の貯蔵、CO2排出の削減

樹木は、光合成によって大気中のCO2を取り込み、幹や枝等の形で炭素を備えています。

このため、木材を住宅に利用することは、炭素を貯蔵することにつながります。

また、木材は、鉄やコンクリート等の資材に比べて製造に要するエネルギーが少ないことから、木材利用はCO2排出削減にもつながります。

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	 6 炭素トン	 1.5 炭素トン	 1.6 炭素トン
材料製造時の炭素放出量	 5.1 炭素トン	 14.7 炭素トン	 21.8 炭素トン

▲住宅（約 41 坪）1 戸あたりの炭素貯蔵量と材料製造時の炭素排出量

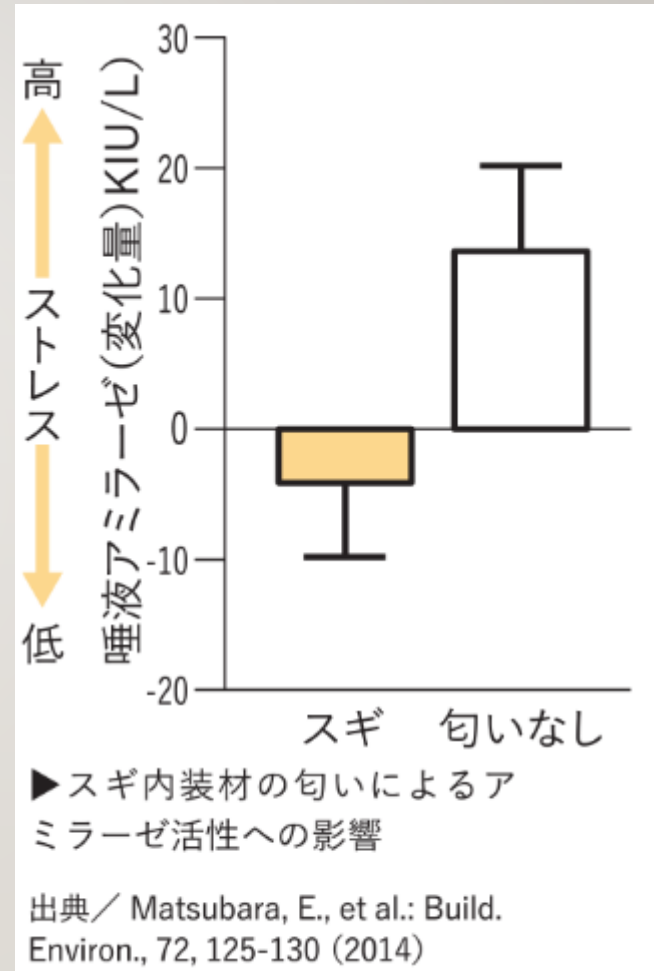
原典：大熊幹康（1988）木材工業，Vol.53-No.4:161-163.

出典：林野庁「森林・林業白書」

○ 建築資材としての優れた特徴

木材には、調湿作用や高い断熱性による室内環境の改善のほか、心理面等の健康への効果があることが確認されています。

スギ材の匂いが、唾液中のストレス指標となる物質（アミラーゼ）の活性化を下げた、すなわちストレスを抑制したとの報告があります。



■ 住宅への国産木材活用による効果の「見える化」



写真提供 左：(一社) JBN・全国工務店協会 中：(一社) 日本ツーバイフォー建築協会 右：(一社) 日本木造住宅産業協会

木造住宅は、軸組工法、ツーバイフォー工法、木質パネル工法等、使用する木材やその工法はさまざまです。

このうち、例えば軸組工法の住宅では、柱や土台、梁等の構造材、根太、間柱等の羽柄材、下地材、造作材等の部材に幅広く木材が使われています。

木材の主要な利用先である住宅にできるだけ国産木材を活用していくことで、カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献することができ、国産木材活用住宅ラベルによってその効果を「見える化」することができます。

■ 木造住宅におけるスギの使用量・住宅の炭素貯蔵量の試算

木造軸組工法の2階建て住宅（延べ面積 約120㎡）を例に木材使用量を試算し、それをもとにスギの使用量と住宅の炭素貯蔵量を試算してみました。

過去の調査結果による軸組工法住宅の木材使用量のデータを用い、できるだけ国産木材を使うと設定すると、国産木材の使用量は7割以上となります。



木材使用量の試算例

	国産木材使用量				外国産木材使用量	全体使用量
	スギ	ヒノキ	その他	計		
構造材	5.4㎡	1.1㎡	0.2㎡	6.7㎡	5.3㎡	12.0㎡
羽柄材	4.5㎡	—	0.5㎡	5.0㎡	0.7㎡	5.7㎡
下地材	2.1㎡	—	2.0㎡	4.1㎡	—	4.1㎡
仕上材・造作材	1.2㎡	—	0.6㎡	1.8㎡	—	1.8㎡
合計	13.2㎡	1.1㎡	3.3㎡	17.6㎡	6.0㎡	23.6㎡
備考	国産木材使用割合は 74.5%（7割以上）					

■ 国産木材活用住宅ラベルの表示内容

国産木材活用住宅ラベルは、住宅、住宅を建設する事業者が自らの発意と責任で作成するもので、表示の内容や方法について統一的なルールが定められています。

○ 国産木材活用住宅ラベルに表示する事項

国産木材活用住宅ラベルには、次の事項を表示することになっています。（③から⑥の事項の表示は任意）

- ①国産木材活用レベル
- ②スギの使用量（花粉症対策）
- ③キャッチフレーズ
- ④住宅の炭素貯蔵量
- ⑤活用する木材に係るその他の情報
- ⑥建物名称、⑦住宅生産者名、⑧表示年月日

■ 国産木材活用レベル

住宅の国産木材使用量に応じて3段階のレベルで表示

国産木材使用量 m^3

延べ面積 m^2

レベル1 : 0.057以上
0.096未満



：国産木材使用割合が
3割以上5割未満相当

レベル2 : 0.096以上
0.134未満



：国産木材使用割合が
5割以上7割未満相当

レベル3 : 0.134以上



：国産木材使用割合が
7割以上相当



■ スギ・ヒノキの使用量

住宅のスギ・ヒノキの使用量を次の原単位により本数に換算して示します。

スギ材 : 4.4本/m³

ヒノキ材 : 5.9本/m³

スギ・ヒノキの使用量

スギの本数

約 ○ ○ 本分

ヒノキの本数

約 ○ ○ 本分

■ 住宅の炭素貯蔵量

表示しようとする住宅に活用した木材に係る炭素貯蔵量を、「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン（令和 3年10月1日 3 林政産第 85 号）」に則り算定し、記載することができます。



住宅の炭素貯蔵量
(二酸化炭素換算)

木材の使用により、次の量の炭素を貯蔵しています。

木材全体の貯蔵量

〇〇t-CO₂

国産木材のみの貯蔵量

〇〇t-CO₂

■ 木造住宅におけるスギの使用量・住宅の炭素貯蔵量の試算

✓ スギの使用量の計算結果

	使用量	本数
スギ	13.2m ³	約 58 本
ヒノキ	1.1m ³	約 6 本

スギの使用量 13.2m³を立木の本数に換算^{※2}すると約 58 本になりました。

※2 換算時の本数 スギ材 : 4.4 本/m³、
ヒノキ材 : 5.9 本/m³

✓ 住宅の炭素貯蔵量の計算結果

延床面積	国産木材 利用量	国産木材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
120 m ²	17.6 m ³	12 t-CO ₂	23.6 m ³	17 t-CO ₂

住宅の炭素貯蔵量のうち、国産木材の炭素貯蔵量^{※3}は 12t-CO₂ になりました。これは次のような CO₂ 排出量に相当します。

- ・普通自動車で地球 3 周 (約 12 万km) 走行したときの CO₂ 排出量
- ・1 世帯あたりの CO₂ 排出量 3 年分 (データ引用元: 新潟県農林水産部 HP)

※3 「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン(令和 3 年 10 月 1 日 3 林政産第 85 号)」に則り算定しました

■ キャッチフレーズ

国産木材活用レベルが2又は3（国産木材が過半を占める）の場合、国産木材を多く活用している住宅であることを示すキャッチフレーズを記載することができます。

さらに、国産木材使用量に占める特定の地域産材使用量の割合が5割以上の場合には、当該地域産木材の名称又は樹種名を用いたキャッチフレーズとすることができます。

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

〇〇産材の家

地域産材の活用にも貢献します

■ 活用する木材に係るその他の情報

表示しようとする住宅に活用する木材に係るその他の情報を記載することができます。

例えば、第三者機関により認証された森林から産出された木材で認証を受けたものである場合等は、木材使用量に占める当該木材の割合等使用の程度と併せて当該木材を活用している旨を記載することができます。

さらに、右側のQRコードから詳細な情報が得られるサイトを参照することができます。

備考：

本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用し、森林資源の適正な整備、循環利用に寄与しています。



国産木材利用への取組みは
こちらから



カーボンニュートラルへの
取組みはこちらから

■ ラベルのご利用にあたって

国産木材活用ラベルを利用するためには

・ ラベルの使用届出

ラベルのHPから
ログイン



「新規届出」の
ボタンから使用
届出を入力して
下さい。



このホームページでは、カーボンニュートラルの実現、スギの伐採促進による花粉症問題の解決に寄与するため、国産木材を活用する住宅を表示する「国産木材活用住宅ラベル」について紹介します。



■ ラベルのご利用にあたって

国産木材活用ラベルを利用するためには

- ・ 国産木材活用レベルの算定
- ・ スギ・ヒノキの使用量の算定
- ・ 炭素貯蔵量の算定

必須事項



このホームページでは、カーボンニュートラルの実現、スギの持続可能な生産による花粉問題の解決に寄与するため、国産木材を活用する住宅を表示する「国産木材活用住宅ラベル」について紹介します。



新着情報

- 国産木材活用住宅ラベル協議会 会誌について
- 国産木材活用住宅ラベル計算シートおよびマニュアル Ver1.3
- 国産木材活用住宅ラベル 計算シートのご紹介
- 国産木材活用住宅ラベル 計算シートのご紹介
- 国産木材活用住宅ラベル JF協賛団体のご紹介

新規届出

- 国産木材活用住宅ラベルは登録制度をいじること、無料でご利用いただけます。
- 登録は原則にも義務はございません。

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

パスワードを忘れたらこちら

管理者権限の取得はこちら

規程・ガイドライン

- 国産木材活用住宅ラベル登録規程 (PDF)
- 国産木材活用住宅ラベル表示に関するガイドライン (PDF)
- 国産木材活用住宅ラベル計算シート (Excel) Ver1.3
- 国産木材活用住宅ラベル計算シートのご紹介 (PDF)
- 国産木材活用住宅ラベル計算シートおよびマニュアル (PDF) Ver1.3

パンフレット

- 国産木材活用住宅ラベルパンフレット (PDF)

ラベルのHPから計算シート(Excel)をダウンロードして算定できます。

■ ラベル計算シートを用いた活用レベルや炭素貯蔵量の算定

表示しようとする住宅の設計図書や発注仕様書等の積算量から国産木材の樹種、数量を入力することで、国産木材の活用レベルや炭素貯蔵量を簡単に算定できます。

標準仕様を定めている場合、標準仕様を基に推計も可能

国産木材使用量等の算定シート 入力シート(v)			
1	算定年月日		
2	住宅生産者名		
3	建物名称		
4	延べ面積[m ²]	150.0	
5	算定者		
6	No.	区分	製材・合板区分の内訳
7	1	製材区分(製材・集成材・CLT等)	製材
8	2	製材区分(製材・集成材・CLT等)	製材
9	3	製材区分(製材・集成材・CLT等)	集成材
10	4	製材区分(製材・集成材・CLT等)	集成材
11	5	製材区分(製材・集成材・CLT等)	CLT
12	6	合板区分(合板・LVL等)	合板
13	7	製材区分(製材・集成材・CLT等)	集成材
14	8	合板区分(合板・LVL等)	LVL
15	9	製材区分(製材・集成材・CLT等)	製材
16	10	製材区分(製材・集成材・CLT等)	製材
17	1_入力シート		1_入力シート(記入)
18	国産木材の使用量の合計[m ³]	25.0	延べ面積[m ²]
19	国産木材活用レベル	レベル 3	単位床面積当たりの国産木材使用量[m ³ /m ²]
20	スギの使用量	約 85 本	スギの使用量[m ³]
21	ヒノキの使用量	約 21 本	ヒノキの使用量[m ³]
22	地域産材の使用量の割合[%]	80.0	地域産材 ○○杉 の使用量[m ³]
23			地域産材 △△松 の使用量[m ³]
24			地域産材の使用量の合計[m ³]
25	キャッチフレーズ	○○杉と△△松を用いた国産木材の家	
26	(キャッチフレーズを入力できます)		
27	国産木材使用量[m ³]	24	国産材の炭素貯蔵量(CO ₂ 換算) [t-CO ₂]
28	17		17
29	1_入力シート		1_入力シート(記入例)
30	2_出力シート		2_出力シート(出力例)
31	3_各種係数値		

■ ラベル計算シートの利用方法

ラベル計算シートを用いて最初に国産木材活用レベル等の算定を行います。

その入力データを活用して炭素貯蔵量の算定も可能です。

○ 国産木材活用レベル等の算定

- ・ 入力シートへの国産木材等のデータ入力
- ・ 国産木材・外国産木材の混合製品（樹種の割合がわかるもの）のデータ入力
- ・ 混合製品（樹種の割合がわからないもの）のデータ入力

国産木材活用
レベル等の出力

○ 炭素貯蔵量の算定

- ・ 混合製品等の追加情報の入力

炭素貯蔵量
の出力

■ ラベルのご利用にあたって

国産木材活用ラベルを利用するためには

スギ等の国産木材を活用した住宅の表示制度ができました

・ ラベルの生成

ラベルのHPから
ログイン



ログイン画面から
ラベル生成の
データを入力して
下さい。



このホームページでは、カーボンニュートラルの実現、スギの伐採促進による花粉症問題の解決に寄与するため、国産木材を活用する住宅を表示する「国産木材活用住宅ラベル」について紹介します。



ラベルの種類

国産木材活用住宅ラベル

Japan Wood Label のデザイン



カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

〇〇産材の家 2③ キャッチフレーズ

国産木材活用レベル	スギの使用量
2① 国産木材活用レベル Level	2② スギの使用量
	約〇〇本分

 <p>2④ 住宅の炭素貯蔵量</p> <p>住宅の炭素貯蔵量 (二酸化炭素換算)</p> <p>木材の使用により、次の量の炭素を貯蔵しています。</p>	<p>木材全体の貯蔵量 〇〇t-CO₂</p> <hr/> <p>国産木材のみの貯蔵量 〇〇t-CO₂</p>
--	---

備考：2⑤ 活用する木材に係るその他の情報



本住宅は第三者機関により適切に管理されていると認められた森林で産出された認証木材を活用しています。



本や森林に関する取引額本についてはこちら



木材の炭素貯蔵についてはこちら

建物名称：〇〇邸 / 住宅生産者名：〇〇工務店 2⑥ 建物名称 国産木材活用住宅ラベル協議会のガイドラインに基づき表示
 表示年月日：2024.〇.〇 2⑦ 住宅生産者名 国産木材活用住宅ラベル協議会のガイドラインに基づき表示
 2⑧ 表示年月日 2⑨ 住宅生産者名

国産木材活用住宅ラベル

Japan Wood Label のデザイン



カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。

国産木材活用レベル	スギの使用量
2① 国産木材活用レベル Level	2② スギの使用量
	約〇〇本分

建物名称：〇〇邸
 住宅生産者名：〇〇工務店 2⑦ 住宅生産者名 国産木材活用住宅ラベル協議会のガイドラインに基づき表示
 表示年月日：2024.〇.〇 2⑧ 表示年月日

フルバージョン

シンプルバージョン

ラベルの活用事例

国産木材活用住宅ラベル活用住宅 ナイス株式会社

国産木材活用住宅ラベル



JAPAN
WOOD
LABEL

カーボンニュートラルや気候変動対策に貢献しています。
「国産材」でつくる家にこだわります。

国産木材活用レベル スギの使用量

Level
3
☆☆☆

約 **55**本分

建物名称：ノブレスタウン日吉 2027
住宅事業者：ナイス株式会社
賞状発付日：2024.3.14

国産木材活用住宅ラベル協会の
サイトラインに準じた表示

ノブレスタウン日吉モデルハウス



Information

国産材、木質化にこだわった
モデルハウスオープン！【予約制】

 国産木材活用住宅ラベル ● 最高レベル3取得

 BELS 省エネルギーラベル取得

標準仕様として躯体の
主要木材に国産材を
100%使用することで
国産材利用拡大に努め
るとともに炭素貯蔵に
貢献しています。

内外装材には空間バラ
ンスを意識し、異素材
と組み合わせることで
モダンなデザインに溶
け込む国産材活用を目
指しています。

様々な国産材の魅力が
楽しめるスタイリッシ
ュなモデルハウス



ラベルの活用事例

国産木材活用住宅ラベル活用住宅 株式会社長谷川萬治商店

DLT恒久仮設木造住宅

設計 : 坂茂建築設計 + NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク
 施工 : 株式会社 家元 (一般社団法人石川県建団連)
 DLT製造 : 株式会社長谷川萬治商店

国産木材活用住宅ラベル



カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。
DLT恒久仮設木造住宅 (1棟分)

国産木材活用レベル	スギ・ヒノキの使用量
Level 3	スギの量 約 438 本分 ヒノキの量 約 16 本分
住宅の炭素貯蔵量 (二酸化炭素削減)	本棟全体の貯蔵量 62t-CO₂
木材の使用により、次の量の炭素を削減しています。	国産木材以外の貯蔵量 62t-CO₂

備考:
 ・このラベルはDLT恒久仮設木造住宅の材料量を示す。
 ・DLTは国産材の活用が主であり、一部は海外産材を使用。
 ・DLTは加工が容易で中小規模事業者でも製造が可能。
 国産木材活用住宅ラベルの活用状況はこちら
 国産木材活用住宅ラベルの活用状況はこちら



外観。国産スギを用いたDLT (Dowel Laminated Timber) を箱型にして市松模様に積み重ねるユニットによる仮設住宅。



室内の様子。居住空間は、壁一面をDLT現し仕上げとした、木に囲まれた空間。

■ ラベルの活用事例

国産木材活用住宅ラベル活用住宅 森のめぐみ工房

わくわくビレッジ9 響-HIBIKI

国産木材活用住宅ラベル



JAPAN WOOD LABEL

カーボンニュートラルや花粉症対策に貢献しています。
吹き抜けの開放感が特徴の平屋風住宅

国産木材活用レベル スギの使用量

Level **3** 約 **85**本分

	住宅の炭素貯蔵量 (二酸化炭素換算)	木材全体の 貯蔵量	21t-CO₂
	木材の使用により、次の量 の炭素を貯蔵しています。	国産木材 のみの貯蔵量	19t-CO₂

備考:



このQRコードを読み取ると
EQUIMIL509S EQUIMIL509S

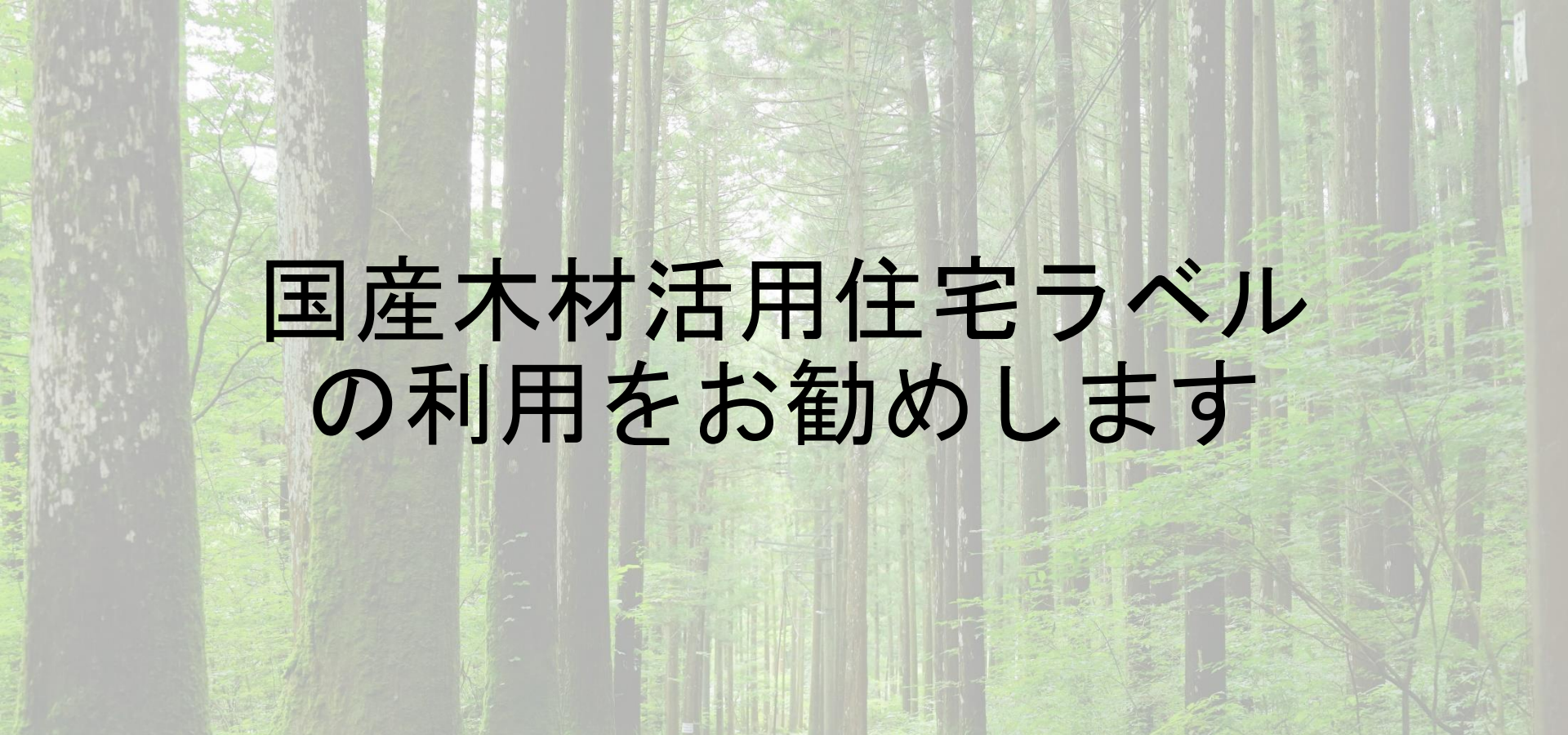
建築物名: わくわくビレッジ9 響/住宅活用名: 森のめぐみ工房 国産木材活用住宅ラベル事務局
発表年月日: 2024.12.5 〒170-0000 東京都小平市三軒茶屋3丁目1-1



平屋風タイプが人気の『ひびき』。リビング前のウッドデッキや自由に間取りを変更できる2階がポイントです。

大きな吹き抜けで、開放感のあるリビングが特徴です。天井や壁の杉羽目板や床の杉無垢フローリングも木の温もりで癒されます。





国産木材活用住宅ラベル の利用をお勧めします

お問い合わせは
国産木材活用住宅ラベルHPのお問い合わせのページから
<https://kokusanmokuzai.jp/toiawase/index.html>

